

## 平成29年度 (所属名) 不祥事ゼロプログラム実施状況

## ○ 項目・目標別実施結果

項目	目標	実施結果と目標の達成状況
法令順守意識の向上（公務外非行の防止、職員行動指針の周知・徹底）	勤務時間外や職場外においても公務員としての自覚をもち、社会人としてのマナーやモラルを踏まえた行動をとる。	年度初めの事故防止研修会・事故防止会議において、全職員に「神奈川職員行動指針」を配付し、教育公務員としての基本姿勢や服務規律について再度確認を行った。また、毎月の事故防止研修会・事故防止会議において啓発資料等を活用しながら、事故・不祥事防止の意識を高めた。
わいせつ・セクハラ行為の防止	セクハラ・わいせつ行為を未然に防止する。	セクハラに関する点検シート等を活用しながら、相手が不快と感じる言動を絶対にとらないよう、全職員で確認した。
体罰、不適切指導の防止	体罰・不適切指導の発生を未然に防止する。	事故防止研修会・事故防止会議において、生徒への指導を行う際には体罰・不適切指導（セクハラ・パワハラを含む）とならないよう、生徒の人権に対して配慮の行き届いた言動をとることを確認した。
成績処理及び進路関係書類に係る事故の発生を未然に防止する。	成績処理及び進路関係に係る事故の発生を未然に防止する。	成績処理の手順を順守して適切に処理することを確認するとともに、調査書作成や推薦入学に係る事務を含めて、必ず相互チェック体制で点検を行うことを確認し、事故を防止した。
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策（パスワードの設定、誤廃棄防止）	個人情報等を適正に管理し、情報の流出を未然に防止する。	他校の、シュレッダーによる文書誤廃棄の情報を受け、定期試験後1週間をシュレッダー使用禁止期間としたうえで、試験返却時に欠席した生徒への答案返却のルールを定めて、答案誤廃棄を未然に防ぐことができた。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の順守	交通事故の発生を未然に防止するとともに酒酔い・酒気帯び運転をゼロにする。	忘年会シーズンを前に、交通事故防止と交通法規順守について、生徒の模範となる教員は、大人としてきちんと範を示すことが大事であることを再度確認し、絶対に飲酒時には運転をしないことを共有した。
業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	各種業務執行に際して、職員の意識やシステムの適正化を図り、事故を未然に防止する。	業務を一人で抱え込みすぎることのないよう、グループリーダーや学年代表を中心に、積極的に情報の共有を図り、複数で業務に当たれるようにして、事故を未然に防いだ。
会計事務の等の適正執行（備品の現物確認）	私費会計の適切な執行についての認識を深め、事故の発生を未然に防止する。	年度初めに、私費会計基準に則って適正な会計処理を行うよう、全職員を対象に研修会を行うことで、会計処理についての事故を未然に防いだ。
入学者選抜に係る事故防止	入学者選抜に係る事故を未然に防止する。	入学者選抜の直前に、検査当日の不測の事態に対応するための研修会を行うとともに、面接シミュレーションを行い、適切な評価が行えるよう共有を図った。

○ 平成29年度不祥事ゼロプログラムの達成状況及び平成30年度に取り組むべき課題

(学校長意見)

日ごろより、時宜に応じて事故防止会議や職員研修会を開催して、全職員に対して事故・不祥事防止について意識の喚起を行ってきた。幸いなことに、今年度も大きな事故・不祥事を未然に防止することができたことは評価をしたい。

しかし、事故・不祥事は些細なことをきっかけとして、いつの間にか取り返しのつかない事態へと転がるものであるので、今後もしっかりと目を凝らして、何か気になる点があったら、それを見逃すことなく地道に一つひとつ対処をしていくことが必要である。年度が改まるに際して、もう一度襟を正して事に臨むことを確認し、引き続き事故・不祥事を未然に防止することを徹底して行く。

そのためには、教員だけでなく、事務職をも含めた全職員で共有することが必要である。今後は職員会議に出席しない事務職や非常勤講師に対して、いかに徹底を図っていくかが課題である。